

編集室

* 個人的な話で恐縮ですが、大学（学部）を卒業して早 30 年近くが過ぎました。およそ 30 年前といえば、NCSA Mosaic や Netscape Navigator といった Web ブラウザが登場したばかりのインターネット黎明期でした。私も早速研究室のサーバで個人の Web ページを作りましたが、当時は個人情報などという考えも浸透しておらず、平気で自らのプライバシーをさらしているような時代でした。

* あれから 30 年近い時を経て、インターネットは広く一般の人々が使うコミュニケーションツールへと進化しました。新しい技術は、多くの人々が使うようになると当初は想定していなかった使い方（悪用）をする人が現れるのが世の常です。現代では、個人や組織を守るために情報リテラシーが必須のスキルになっただけでなく、そのスキルも新しい機器やサービスが産み出されるたびにアップデートし続ける必要があります。もはやある程度知識のある人にとっても、自前で Web サーバを構築、管理、維持するというのは相当にハードルの高い行為になってしまいました。サーバを立ち上げるとすぐ

さま世界中からアクセスが始まります。便利で楽しいだけであったツールが危険と表裏一体であることを学ばずしては、安全に活用できないのです。

* 本誌 9 月号の小特集はドローンです。現在のドローンブームの火付け役となった AR. Drone が発売されたのが 2010 年ですので、今まさに黎明期を抜け出したばかりと言える技術かもしれません。2013 年 12 月に米 Amazon がマルチコプターでの配送サービスの構想を発表して以降、ドローンには多くの可能性が見いだされました。本小特集でも、それらの可能性の一端を垣間見ることができます。ドローンは、個人で気軽に遊べる小形のものがあるとはいえ、さすがにインターネットのように万人が使うツールにはならないでしょう。それでも、様々な使われ方による問題が浮き彫りになり法整備が行われています。20 年後、ドローンがどのような使われ方をしているのか分かりませんが、世界中の人々が安全に恩恵を受けられるツールに進化してほしいと願っています。

（編集理事 佐波孝彦）

10 月号小特集予定目次

「機械学習を活用したネットワーク監視・予測・制御技術の最新動向」

- 小特集編集にあたって……………編集チームリーダー 田中和樹
1. 機械学習を用いた仮想 5G コア網における障害原因解析手法……………河崎純一 毛利元一 鈴木悠祐 大谷朋広
 2. モバイルネットワークにおける AI を用いたオペレーション高度化の取組み……………鈴木将友 木村竜也 塩津晃明 チン ウェンゼン 秋山晋作 柴田精司 鈴木啓介
 3. 機械学習を用いたネットワークの自動設計技術……………黒田貴之 八嶽 豊 田辺和輝
 4. IDPS シグネチャ分類への機械学習適用……………川口英俊 中谷裕一